

平成28年度 第4回 エルシーブイ放送番組審議会 議事録

■開催日時 平成29年3月21日(火) 午後1時30分～午後3時00分

■場 所 エルシーブイ株式会社 本社1階会議室

■出席者 委員総数 5名

出席委員 (5名)

市川 純章 委員

河西 滋子 委員

杉本 研一 委員

井上 淳哉 委員

菊池 大介 委員

放送事業者側 (8名)

伊藤 敏昭 取締役

佐久 章展 放送制作部長

田中 淳司 放送制作部 主事

平岩 陽一 放送制作部 主事

八幡 聡 放送制作部 制作課長

柳原 正 放送制作部 編成運行課長

吉田 和晃 放送制作部 報道課長

原田 久美子 事務局

■議 事

1. 審議事項

【審議番組】 自然写真家 西村豊 日本再発見シリーズ「干す」

<委員からの主な意見>

□評価意見

- ・西村氏の写真に対する愛情や尊敬の念が表現されていた。
- ・インタビュー時の照明が素晴らしかった。
- ・西村氏のコメントと写真の展開がシンクロしていて、良い番組構成だった。
- ・映像資産として、諏訪発で全国に紹介できるような番組で、とてもいいことだと思う。
- ・4Kで制作したということだが、2Kのテレビで見たのでどれだけ反映されるのかわからないが、色がきれいだと思った。
- ・鮭のお腹を光を透かして撮った写真は、写真家ならではの視点が感じられて、テーマにぴったりの写真の使い方だと思った。
- ・写真がきれいで素晴らしかった。西村氏の動物・対象物・人に対するやさしさが伝わってきた。
- ・食用ほおずきの写真は感動した。食用ほおずきが出回る頃に、そのニュースを放送してほしい。
- ・記録として伝えるという点ではいい番組だった。
- ・個人的に、鮭はどうやって食べているのかまで見てみたかった。

□指摘・要望

- ・写真家がどこを見て撮ろうと思ったのか、という紹介かと思って期待して見たが、違った。取材をしている西村氏を取材しているのか、西村氏の目線を借りて価値のある物を紹介しているのか、わかりにくい。
- ・特集なのだから、西村氏を知らない人に対しての説明が必要だった。
- ・長文のテロップが見づらかった。
- ・キャプションが背景と同系色になってしまう箇所が一部にあり残念だった。フォントも明朝体ではなくゴシック等にするなど見やすくして、お年寄りにも配慮がほしい。
- ・小さいテレビやPCで見たので文字がつぶれていた。
- ・審議会資料DVDの解像度の問題かもしれないが、4Kテレビの大きい画面だと相応に離れて見てしまうこともあり、見づらい点もあった。4Kで可能性が広がった分、試行錯誤することは多いのだろうと思った。
- ・写真と映像との区別がわかりにくい。テロップは入っているが、フレームを使って強調したらどうか。
- ・映像では常に西村氏がカメラを構えているところをとらえ、対象物に移った時に写真に切り替える、という方法だと、視聴者がイメージしながら見られるのでは。
- ・写真の紹介時に、変に凝った演出がなく淡々とつなげてあったのが、品がいいと思った。写真と映像はテロップで見分けていたので、文字の見づらいところは見分けにくかった。
- ・写真は作品として見たい。